

根来寺

根来山げんきの森倶楽部

令和7年1月作業日誌

活動日：令和7年1月19日(日) 9:30～15:00 天気：晴れ 倶楽部員：49人

今月の活動日は穏やかな晴天、作業日和の1日となりました。七草お餅つき用のクルミは残念ながらげんきの森では収穫できませんでしたが、倶楽部員さんにたくさんお裾分けいただき恒例の味が楽しめます。炭の注文も増えて、今年もげんきの森は大忙しの予感です！

里山整備

春のような日差しの中、今回はみんなで檜を4本伐採しました。

少なめの人数のおかげか、まじまじとチェーンソー作業を見ることが出来伐採した木は道普請の為に使うので、ワイヤーや人力で引っ張り出しました。

いつもは枝を切ったり、運んだり自分にもできる作業をしていましたがみんなを見ていると、木を倒すことは難しくてもチェーンソーをも少し使えるようになりたいと思いました。(殿最 操)



味噌汁作り



今回は初めて豚汁作りに参加させていただきました。

えのき、しいたけ、大根、ニンジン、天ぷら、油揚げ・・・

用意された食材を片っ端から切っていったのですが、いかんせん量が多い！これほど大人数の食事を一度に作る事なんて滅多にない機会です。「どう切るのがいいですか？」と聞いたら「とにかく数を多く！皆にいきわたるように！！」との答え。普段家で作るより小さめに切り刻んで大鍋に投入して煮込みました。

最後には味見を頼まれ、「うむ、美味しい。仕上がっている！！」なんて言って完成したのですが、我が家は焼き魚に塩を振らないほど薄味を旨とする家。ひょっとして味が薄いと感じた人が多かったならば、それは私の責任です。(古澤 祐史)

炭材つめ

2025年最初の定例活動日は穏やかな晴天で、私達の作業場所は午前中は日が当たりませんが、作業中は寒くもなく快適な一日でした。

午前の作業は炭材つめでした。12才から80代まで老若男女14名で1,000Kg以上もの炭材を置き場から一輪車で運びつめました。

午後からは窯の入り口を塞ぐ作業と薪割りなどをしました。窯を塞ぐ材料は今まで形や大きさがバラバラの石やレンガなどを組み合わせて使っていたのですが、今回、緑花センターに置いていたコンクリートのテストピース(円柱状)をもらい受け利用しました。初めて使うのですが、サイズが一定なので迷うことなく積んでいけます。

今回は水曜日から焼きはじめて2月の活動日に炭出しを予定しています。尚、萩原コーヒー様からの注文もあり、次回から炭出しと炭材つめを一日で行う予定です。次回も皆様のご協力よろしくお願いします。(新江 光弘)



クリミ割り

ボクの分も
ありますか？



去年の秋、げんきの森のオニグルミは不作で収穫ゼロでした。

ということでTさんの庭？のオニグルミをたくさん分けてもらいました。

午前中に焚き火用のドラム缶の上に鍋を置いて、その鍋で胡桃を煎ります。そうすることでクルミの割れ目が少し開き、割りやすくなります。

品種のカシグルミは殻が薄くて煎らなくても簡単に割れるのですが、オニグルミはそうはいきません。

お味噌汁班と合同で、まず隙間が空いたクルミに剪定バサミを挟んで半分に割ります。それからクルミの中の取り出し作業ですが、取り出しには洋裁や和裁などに使う糸切り(リッパー)を使うと掻き出しやすいです。これが地味に楽しいというか、快感というか、どうしても細かく実が崩れてしまうのですが、中にはきれいに崩れないでかき出すことができるものがあって、そういう時は嬉しいものです。細やかなことです。

これらのクルミは2月のお餅つきのお餅に入れるのですが、ひと臼分はあると思います。きっと美味しいはず。

来年はげんきの森のオニグルミもたくさん実りますように。(岩田 禎子)

新年 1 発目の活動日はいい天気で、皆さんの汗と笑顔がより輝いてい

ました～！日々思うのは、皆さんの活動や頑張りは、直接的だったり間接的だったりカタチは様々ですが、他の知らない誰かの喜びや笑顔に繋がっているなあと。人それぞれ役割は違いますが、今年もそんな皆さんの輝く一瞬を写真に納めたいなあとと思います！今年もよろしくお祈いします^^



活動写真館



「クスノキ」

げんきの森のクスノキは災難です。私から目の敵にされてどんどん伐採されていくのですから。でも、少しくらい伐採してもきりがありません。なにせ、げんきの森最大の成長能力を持った樹木ですし、げんきの森の少し痩せた土壌が発芽に最適なのか至る所から芽を出してきます。それも大量に。そもそもクスノキは沖縄から中国南部にかけて広がる樹木で、このあたりにとってはエイリアン。でも、4000年ほど前にはすでに近畿地方にもたらされていたとか。この南方系の古いエイリアンが近年の地球温暖化に後押しされて、今まで以上にはびこってきそうです。

クスノキはその旺盛な成長能力で周りの樹木を圧倒します。隣にあるコナラやヤマザクラの大木を押しよせ、枝の下から伸びてくる樹木たちには影を作ってその成長を抑え込んでいきます。そして気がつけばあたりにはクスノキばかりの森が広がるのです。

ですから、私はクスノキには災難でもクスノキを駆除しています。

クスノキはすばらしいげんきの森の環境の天敵。みなさんもその駆除にご協力ください。

岡田 和久